

東日本ユニオン

よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/小清水和彦
編集者/教育・広報部

謹 賀 新 年

組合員・ご家族の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

2021年も新型コロナウイルス感染症の1年でありました。政府による「緊急事態宣言」と「まん延防止等重点措置」の断続的発令の中、感染予防をおこないながら執行委員会、職場集会や組合員集会等を開催し、JR東日本労働組合の運動をつくり出していただき感謝いたします。引き続き感染予防を忘れずに取り組みましょう。

忘れてはいけないのは、2021春闘では、ベアゼロ回答と賃金改定において昇給係数「2」となり、夏期手当2.0ヶ月、期末手当2.0ヶ月と大変厳しい回答でした。取り組みをつくり出してきましたが、この悔しさを忘れずに職場から、2022春闘をつくり出していきましょう。

2022年3月12日(土)、横浜支社での現業機関における柔軟な働き方の実現について、「湘南・相模統括センター」「桜木町営業統括センター」が発足します。7月には「小田原・伊豆統括センター(仮称)」の発足が予定されています。私たちの職場や業務内容が変わります。

2022年3月ダイヤ改正では、相模線茅ヶ崎～橋本間の全列車でのワンマン運転の実施や、各線区において輸送体系の見直しの提案を受けています。

「変革2027」の実現に向けて矢継ぎ早に出される会社施策により、私たちの生活や働き方が大きく変わっていきます。JR東日本労働組合横浜地方本部は、提案される施策に対し団体交渉をおこなってきました。引き続き働きやすい職場にするために、組合員同士しっかりと議論し、職場からJR東日本労働組合の運動をつくり出していきましょう。

組合員・ご家族の皆さん、
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
東日本ユニオン横浜地方本部
執行委員長 小清水 和彦

